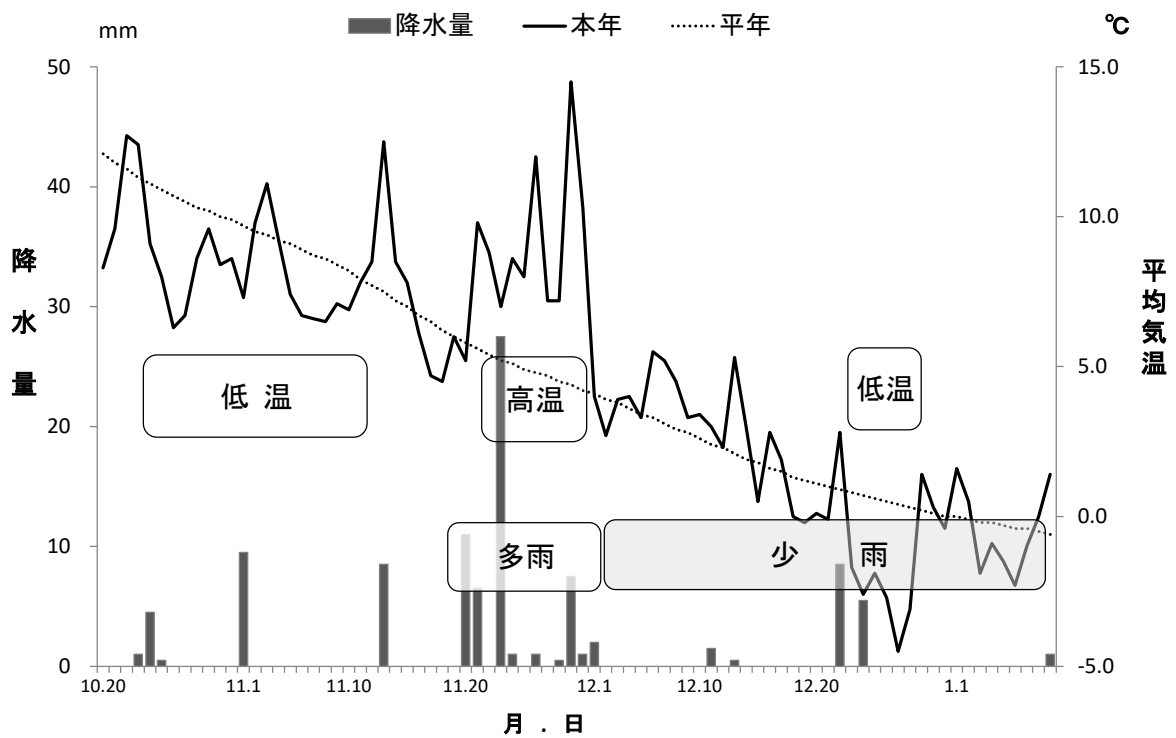


令和5年 作物技術情報第1号 (麦の越冬前生育状況について)

1 気象状況

令和4～5年 気象経過(穂高アメダス 10月20日～1月9日)



- ・ 10月下旬～11月上旬は低温で推移し、11月下旬は高温で推移しました。12月以降は平年並みかやや低温で推移しています。
- ・ 11月下旬が多雨傾向でしたが、12月以降は降水量のかなり少ない状況で推移しています。

2 麦の生育状況

【麦の播種状況】

- ・ 水稲後の麦は10月下旬から播種が始まり、11月上旬で概ね終了しました。
- ・ 大豆後の麦は10月末から播種が始まり11月末で概ね終了しました。
山麓沿いの標高の高い圃場は降霜により落葉が遅れ、大豆の収穫が遅れたため、麦の播種作業も遅れました。
- ・ 11月下旬を除き降雨も少なかったため、湿害も少なく麦の出芽は概ね順調でした。
ただし、播種が極端に遅れた圃場や、播種深度が深い圃場では、出芽が遅れている圃場もあります。
また10月下旬播種の大麦では、生育過剰で葉の黄化が目立つ圃場もあります。

【越冬前の生育状況】

- ・ 12月下旬における、管内の麦の生育状況は概ね以下のとおりです。

【 越冬前（12月下旬）の生育状況】

播種日	葉令	分けつ	生育
10月下旬	4～5葉	2	過剰～やや過剰
11月上旬	3～4葉	1	並
11月中旬	2～3葉		やや少
11月下旬	出芽始～1.5葉		少

- ・ 播種時期により生育差がありますが、大麦は3～4葉（分けつ2本前後）、小麦は2.5～3.5葉（分けつ1本前後）の圃場が多いと思われます。
- ・ 2月末より1回目の追肥作業が開始されると思われますが、追肥時期・追肥量は越冬後の生育状況で左右されますので、今後の気象状況に注意が必要です。
- ・ 2月上旬に越冬後の生育調査を実施します。調査結果は次回の技術情報でお伝えしますので、生育状況にあった追肥をお願いします。